



【受式者】 児玉 麻友子（こだま まゆこ）さん [北海道教区第13組勝誓寺門徒]

【法 名】 釋尼慶友（しゃくにきょうう）

【受式者】 安田 佳代（やすだ かよ）さん [北海道教区第13組勝誓寺門徒]

【法 名】 釋尼佳景（しゃくにかきょう）

—お二人は同級生だとお聞きしました。

中学まで同じ学校に通っていました。今は、勝誓寺の門徒として、法話をお聞きしたり、草取りやおみがきなど、お寺の婦人部と一緒に活動しています。勝誓寺のご住職は若くして住職になられ、その歩みを私たちも近くで見守ってきました。いつも気さくに接してくださいます。今回も、住職からのお声かけがきっかけで第13組主催の真宗入門講座を受講し、帰敬式を受式しました。

—受式された感想をお聞かせください。

安田さん 帰敬式を受け、法名をいただきましたが、自覚がなくて。仏弟子って何？わからないことばかりです…

児玉さん 私もそうです。でも、わからないなりに帰敬式という場に立たせてもらい、その形を受け取ったと感じています。これから、その意味をたずねていけたらと思っています。一年生になった気分です。

安田さん ほんとだ。少しほっとしました。

—本山（同朋会館）での生活はいかがでしたか。

児玉さん 身を運び、自分で見て触れることを通して、今まで漠然としていた親鸞聖人や本山が身近な存在になりました。両堂参拝が一番印象に残っています。お念仏の教えにふれ、その大切さを感じられたたくさんの方の思いが、建物や歴史という形となって私のところに届いている。この感動はずっと残っていくと思います。

安田さん 地元で研修してきた仲間と寝食を共にするという、めったにない経験ができてとても楽しかったです。講義では、人間は、他者とつながりあい、すべてのものに支えられて存在しているというお話がありました。

同朋会館では多くの方との生活ですから、いつも誰かがそばにいますよね。食事、入浴などをはじめとしたさまざまな場面で相手への思いやりが必要です。私もいろんな方のあたたかい気持ちに触れることができました。自分のことばかり考えてちゃダメだ！ここに來たから気づいたんです。生活を通してお話の内容を味わうことができました。

児玉さん 自分中心でしか生きられない私であることを、たくさんの人との関わりの中で気づかされ、仲間とそのことを確かめ合う。その輪が地域、社会、世界に広がっていったらいいのになと思いました。

安田さん お寺は歳をとってから行くところだと言われますが、教えを聞くのに年齢は関係ないと思いました。若い人にぜひ教えにふれてほしい。子育てや仕事で大変だと思いますが、大変だからこそ聞いてほしいと思います。